

# 第2回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

## 高齢がん患者を認知機能障害から守る

演者: 小川 朝生 先生 AI

国立がん研究センター先端医療開発センター  
精神腫瘍学開発分野



日時: 2021年8月3日(火) 14:30~15:30

オンライン (Zoom) 開催

超高齢社会を迎え、わが国ではがんに罹患する人の73%が高齢者であり、がんで亡くなる方においては86%が高齢者である。がん治療の進歩もあり、がん診療は高齢者の慢性疾患の様相を帯びてきている。高齢者が治療を受ける際の問題の一つに、急性の認知機能障害であるせん妄がある。せん妄は、注意力障害を主体とした意識障害の一形態である。入院患者の約20%に出現し、転倒や点滴抜去等の医療安全上の問題を引き起こすほか、治療を阻害する、認知症の発症を促進する、家族の苦痛となる、在院日数を伸ばし医療経済的な負担になるなどの問題を生じる。しかし、その背景因子が多様なために、まだ病態の解明は途上である。東病院では、10年来せん妄の予防に取組み、せん妄・認知症に関する医療者への教育活動の他、機械学習を用いた発症予測等を検討している。

当日は、がん医療における精神的ケアの活動について紹介します。さまざまな意見をいただければ幸いです。

**本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します**

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足した脳学際研究部門 (BIRD) をより発展させるために2021年度に設立された新しい部門。学内の工・先進工・理工・薬学部・生命研および学外の研究機関から構成される。 世話人: 生命医科学研究所 中村岳史 [tnakamr@rs.tus.ac.jp](mailto:tnakamr@rs.tus.ac.jp)



本講演は公開セミナーです。聴講希望の方は世話人までメールでご連絡ください。必要な情報を折り返しお伝えします

